
基本施策

地域福祉

施策の内容
(小施策)

地域福祉推進体制の充実

4-2 地域福祉

現状と課題

関連計画

第2次刈谷市地域福祉計画
2010年～2014年



めざす姿(生活像)・目標指標

用語解説

核家族化、少子高齢化、共働き家庭の増加などにより家庭や地域の相互扶助機能が低下するとともに、生活上の諸課題は複雑多様化し、福祉サービスへの社会的需要は増加しています。さらに、社会経済情勢などの影響もあり、自殺、ひきこもり、虐待、孤独死などといった新たな社会問題も見受けられるようになってきました。また、増加する単身高齢者など要援護者の支援についても課題となっています。

これまで、行政や社会福祉法人などにより、障害者や高齢者の様々な福祉関連施設の整備やサービスの提供を充実してきました。近年は、福祉分野への民間事業者の新規参入が広がるとともに、ボランティアやNPOなどの活動が活発化し、行政とボランティア団体などとの連携の気運が高まっています。さらに、団塊の世代の地域回帰も始まろうとしています。

また、本市では、刈谷市民ボランティア活動支援センターのほか、社会福祉協議会においても福祉ボランティアの拠点としてセンターを設置するなど、ボランティア活動に関わる団体の育成を図ってきたことにより、団体の登録数も着実に増加しています。

こうした社会状況の中、福祉の心の醸成を図り、地域の実情に応じた福祉の推進を、地域団体やボランティア、NPOなどとの協力の下で、住民同士で支えあい、地域で問題を解決していく地域福祉の必要性や重要性が高まっています。

そのため、地域福祉の推進役である社会福祉協議会の充実を図るとともに、地域組織や人材の育成支援を通じて、地域住民やボランティア、NPOなどと連携し、地域の課題や実情に対応した活動が展開できる地区社会福祉協議会の設置を推進する必要があります。

めざす姿 ～まちの状態～	現状値	目標値	
		2015年	2020年
●地域住民同士で支えあう地域福祉活動が行われています。	58.3%	63%	68%
●地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉の体制や仕組みが整っています。			
地区社会福祉協議会設置数			
	0か所	1か所	3か所

めざす姿 ～市民の暮らし～	現状値	目標値	
		2015年	2020年
●ボランティア活動を通じて、住民同士が交流しています。	9.6%	12%	15%
●地域の課題を住民同士が共有し、解決に向け、行動しています			
社会福祉協議会のボランティア登録団体数			
	103団体	115団体	125団体

- NPO……Non Profit Organizationの略で、民間非営利組織のこと。非営利すなわち営利を目的とせず公益的な市民活動を行う民間団体の総称。
- 団塊の世代……第二次大戦後昭和22年～24年にベビーブームが起り、年間約270万人が出生した。このベビーブーム期の世代が団塊の世代と呼ばれている。
- 社会福祉協議会……市区町村に設置され、社会福祉法にも規定されている公益的、自主的な組織で、地域福祉の推進を図ることを目的に運営される組織。略して「社協」という。
- 地区社会福祉協議会……市町村内の小地域福祉課題に取り組むため自治会、小・中学校区などを単位としてボランティアなど各種団体が協働して運営する組織。略して、「地区社協」という。
- ノーマライゼーション……障害児・者や高齢者などを特別な存在として見るのではなく、健常者とともに社会生活を普通に過ごすことが正常なことであり、本来の望ましい姿であるとする考え方やそれに向けた運動や施策のこと。
- ユニバーサルデザイン……できる限り、すべての人が使いやすい製品・環境をデザインすること。

1) 福祉の心の醸成

2013 2016 2020

①	学校教育や生涯学習、ボランティア活動などの場面において、市民と障害児・者などがふれ合う機会を増やし、障害や認知症などについての理解やノーマライゼーション、ユニバーサルデザインを理解した福祉の心の醸成に努めます。			
②	地域住民がふれ合い、思いやりの心を育む機会となる交流活動を推進します。			

2) 地域福祉活動の推進

2013 2016 2020

①	ボランティアやコーディネーターの養成講座を開催し、地域福祉の担い手が育つ環境づくりを推進します。			
②	小中高等学校の福祉活動を支援するとともに、各種福祉施設と連携を図り、児童生徒の体験学習を実施します。			
③	地域住民が、地域の課題を見出し、自らで解決策を考え、行動できる地域住民会議を開催します。			

3) 地域福祉推進体制の充実

2013 2016 2020

①	社会福祉協議会の福祉ボランティア支援機能の充実を図り、地域福祉活動の担い手となる地域ボランティアの立ち上げや活動を支援します。			
②	刈谷市民ボランティア活動支援センターの充実を図り、市民のボランティア活動の情報の収集や発信、団体の交流や連携を推進します。			
③	地域住民、ボランティア、NPOなどとの連携を図り、地域住民会議の開催や、地域の課題、実情に応じた活動ができる地区社会福祉協議会の設置を推進します			



多くの人々が“福祉の心”を持ち、参加し、支えあう地域社会の形成に努めることが大切です。ボランティアやNPOをはじめ地域を支える多様な主体が、それぞれの役割を担い、協力して地域福祉の実現をめざします。



市民の役割

地域の一員であることを自覚し、地域活動やボランティア活動などへ積極的に参加します。

自 助



団体・事業者などの役割

地域で活動する団体は市民を取り込む主体となり、地域福祉の推進に努めます。また、事業者などは、財政的、人的な面で活動への支援に努めます。

互 助



行政の役割

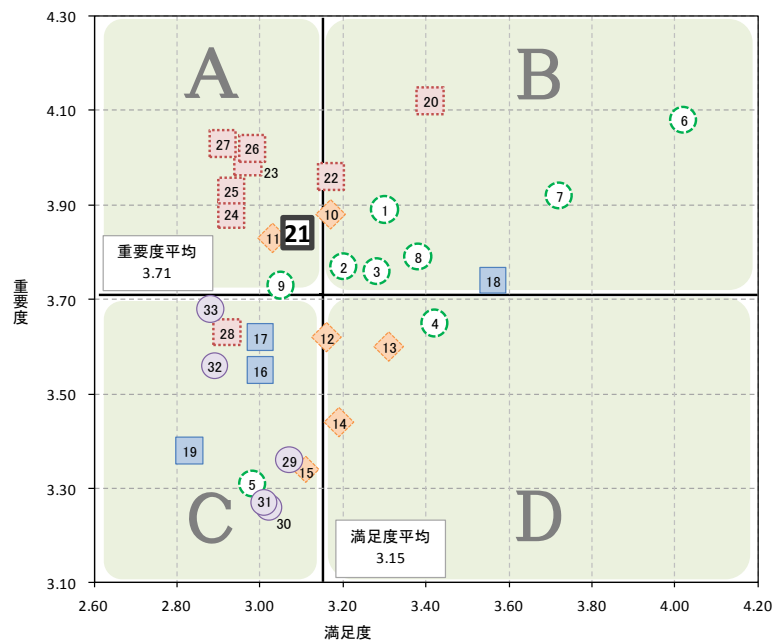
社会福祉協議会の充実を図り、地域に密着した組織や人材の育成を支援します。また、活動団体などのネットワークを構築し、相談や活動支援体制を充実します。

公 助

基本施策	42 地域福祉
施策の内容 (小施策)	423 地域福祉推進体制の充実
小施策の 項目	① 社会福祉協議会の福祉ボランティア支援機能の充実を図り、地域福祉活動の担い手となる地域ボランティアの立ち上げや活動を支援します。
	② 刈谷市民ボランティア活動支援センターの充実を図り、市民ボランティア活動の情報の収集や発信、団体の交流や連携を推進します。
	③ 地域住民、ボランティア、NPOなどとの連携を図り、地域住民会議の開催や、地域の課題、実情に応じた活動ができる地区社会福祉協議会の設置を推進します。
	④
	⑤

小施策 責任者	福祉健康部長
とりまとめ課	福祉総務課
関係課	

めざす姿 (生活像)	まちの 状態	地域住民同士で支えあう地域福祉活動が行われています。 地区社会福祉協議会を中心とした地域福祉の体制や仕組みが整っています。
	市民の 暮らし	ボランティア活動を通じて、住民同士が交流しています。 地域の課題を住民同士が共有し、解決に向け、行動しています。



市 政 に 対 す る 市 民 の 評 価	21 地域で支えあう福祉の充実	満足度・重要度評価項目		区分	22年度	24年度
		重要度	ポイント	3.86	3.84	
			平均	3.69	3.71	
			順位	9 /33	12 /33	
			ポイント	2.98	3.09	
		満足度	平均	3.09	3.15	
順位	21 /33		16 /33			

目標指標 の達成状況	指標名称	単位	実績値			目標値	
			23年度	24年度	25年度	26年度	32年度
			活動指標	社会福祉協議会のボランティア登録団体数	団体	109	129
	市民ボランティア活動センター登録数	団体	355	397	417	344	360
	NPO法人数	団体	25	26	27	24	26
	地区社会福祉協議会設置数	か所	—	1	1	1	3
成果指標	地域の支えあいにより高齢者等が安心して暮らせると思う市民の割合	%	—	64.9	—	63.0	64.0
	刈谷市の福祉水準が進んでいると感じる割合	%	15.1(H20)	—	15.7(H25)	—	20.0(H30)
	ボランティア活動などに参加している市民の割合	%	—	9.5	—	12.0	15.0

他市町村 との 比較検証	比較項目	社会福祉協議会ボランティアセンター登録状況					単位	団体
	刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		
	130	26	192	125	105	104		
	備考	25年4月現在						
	比較項目	NPO法人認証数					単位	団体
	刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		
	27	7	36	32	10	10		
	備考	26年5月現在						
	比較項目	地区社会福祉協議会の設置状況					単位	か所
	刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		
	1	—	8	—	4	—		
	備考	26年4月現在						
	比較項目	第1次地域福祉計画期間の開始年度					単位	年度
	刈谷市	碧南市	安城市	西尾市	知立市	高浜市		
H16	H17	H16	H19	H23	H14			
備考								
比較項目	地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体的な策定状況					単位	—	
近隣市では、安城市と高浜市が社会福祉協議会の地域福祉活動計画とあわせた地域福祉計画を一体的に策定しており、碧南市は一体的に策定するか調整中です。西尾市と知立市は一体的な策定を予定していません。								

平成26年度 刈谷市小施策評価シート

●小施策を構成する事務事業

事業No.	事務事業名	(頁数)	投入コスト(単位:千円)			事務事業評価(25年度決算)					予算対応の考え方	担当課
			24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(当初)	必要性	効率性	妥当性	貢献度	方向性		
1	①②③ 地域福祉計画策定事業	P42	—	9,986	11,902	高い	普通	高い	高い	現状維持	Ⅵ	福祉総務課
2	①③ 社会福祉協議会補助事業	P44	86,956	90,421	97,610	高い	高い	高い	高い	拡充	Ⅰ	福祉総務課
3	① 地域福祉基金運用事業	P46	1,987	1,120	1,380	高い	普通	普通	高い	改善・効率化	Ⅳ	福祉総務課
4	② 市民ボランティア活動支援事業	P48	40,469	39,774	43,674	高い	普通	高い	高い	現状維持	Ⅲ	市民協働課
構成事務事業数		4	投入コスト合計		129,412	141,301	154,566					

《注意事項》

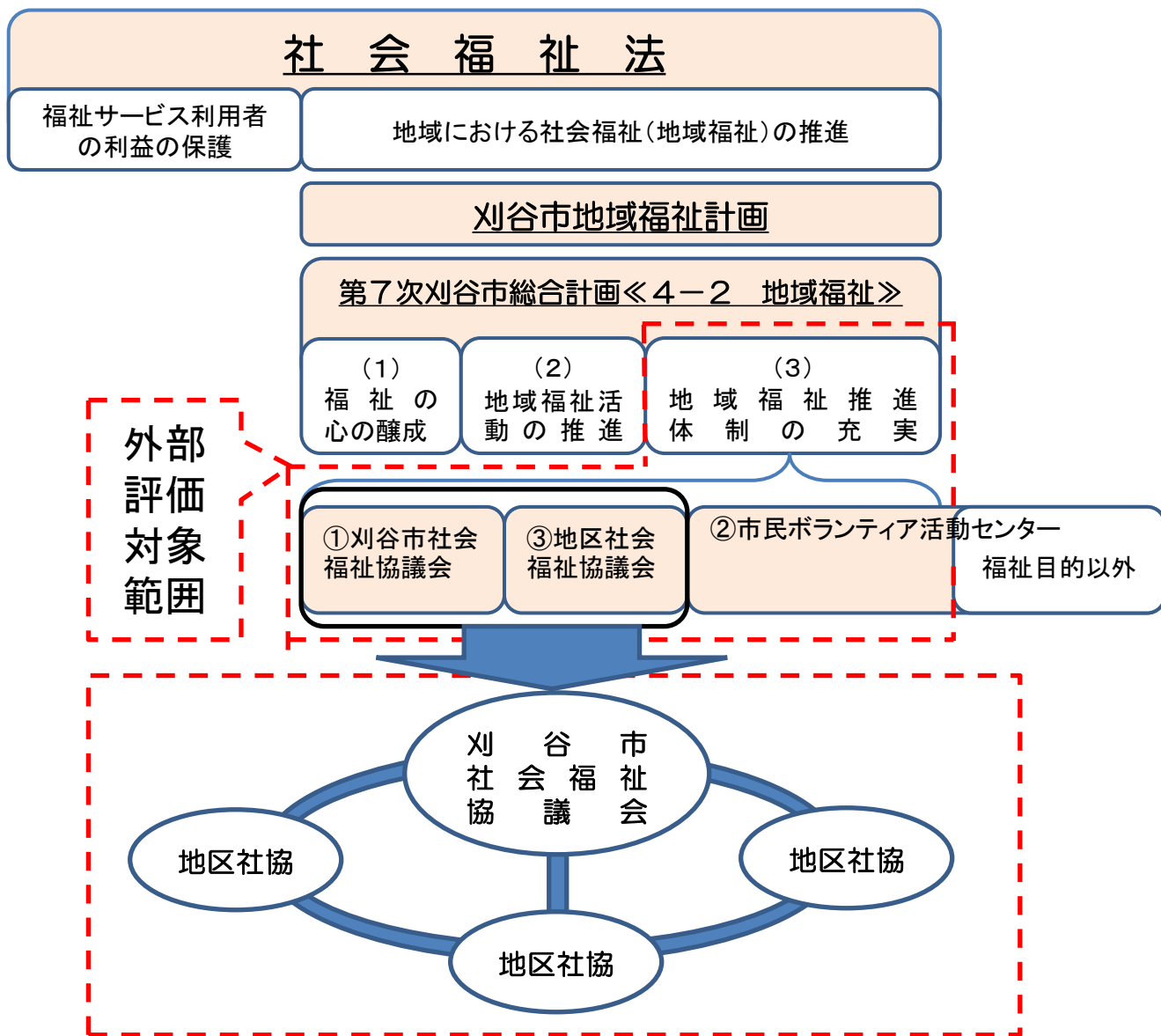
「小施策を構成する事務事業」「成果」「現状分析と課題」「今後の方向性」に掲載されている①～③は、前ページ上部の「小施策の項目①～③」に対応

《予算対応の考え方》

方向性	拡充		Ⅴ	Ⅱ	Ⅰ
	現状維持		Ⅵ	Ⅲ	
	改善・効率化		Ⅶ	Ⅳ	
	縮小		Ⅷ		
	終期設定		Ⅸ		
	休止・廃止	Ⅹ			
		無	縮小	維持	拡充
		予算対応の考え方			

成果	①	地域福祉の推進役である社会福祉協議会に補助を行い、福祉ボランティアの活動支援などに取り組んだことにより、地域住民やボランティア、NPOなどと連携し、地域の実情に応じた活動が展開できるようになっています。
	②	刈谷市民ボランティア活動支援センターは、広域的な情報・人材交流ネットワークの拠点となり、市民と市民ボランティア活動団体、企業、行政の協働、連携の役割を担っており、市民ボランティア活動に関する様々な情報の提供、活動団体相互の交流と連携の促進や市民ボランティア活動団体の自立化を支援しています。
	③	地域住民やボランティア、NPOなどと連携でき、地域の実情に応じた活動が展開できる地区社会福祉協議会を、平成24年度に北部地区に設置しました。 社会福祉協議会活動費補助として、地域で暮らす、ひとり暮らしの高齢者の引きこもりや、孤独感の解消、あるいは、健康保持及び日々の生活の充実を図ることを目的とする、なごやか交流会を支援してきました。 その結果、北部地区社会福祉協議会は、16のグループや個人の合計178人が活動し、高齢者が徒歩でいけるような小さな区域でのサロンの設置や、高齢者の一人暮らしでの、電球の取替えやゴミ出しなどの小さな困りごとにも対応するボランティア活動を行い、地域福祉の向上に寄与しています。
現状分析と課題	①	福祉ボランティア団体の活動を支援し、育成したことにより、登録数も着実に増加しています。
	②	市民ボランティア活動を支援することにより、ボランティア登録数が年々増加するとともに、ボランティア活動支援センターを中心に人材育成、コーディネート機能がさらに充実しました。
	③	地区社会福祉協議会を北部地区に1か所設置しましたが、北部地区社会福祉協議会は、自治会や民生委員等とのつながりや地域住民への広報が十分でないなどの課題を抱えています。 地区社会福祉協議会は、地域で活動する、自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ、子ども会、ボランティア、地域包括支援センター、婦人会、PTA、NPOなどと連携して、生活上のいろいろな問題や福祉課題について話し合い、福祉意識の啓発や問題解決のために地域の実情にあった活動を展開することが望ましいと考えているため、その環境を整備していく必要があります。
今後の方向性	①	地域福祉活動を充実させるため、引き続き、社会福祉協議会に補助を行い、福祉ボランティアの活動支援などに取り組んでいきます。
	②	地域づくりの担い手として、市民が主体となった市民ボランティア活動が発展していくため、引き続き市民ボランティア活動を支援し、市民ボランティア活動の活性化を図ります。
	③	地区社会福祉協議会の活動の展開により、地域住民が直接地域福祉活動に参加でき、地域住民が福祉課題に取り組むことを通して、個々の生活課題から地域生活課題としての取り組みが進み、福祉のまちづくりにつながっていきます。 住民の福祉意識の向上と地域で課題を共有、解決し、支えあい安心した生活が送れるように、全市的な地域福祉活動のさらなる充実に向けて、地域住民会議を開催し、問題意識の情報共有に努める必要があります。 地区社会福祉協議会は、地域福祉活動の重点目標施策として、平成32年までに市内に3箇所設置することとしています。 地域福祉推進体制の充実のため、社会福祉協議会の地域福祉活動計画とあわせて第3次刈谷市地域福祉計画を策定しており、多くの住民が、福祉に関心を持ち、参加し、支えあう地域社会の形成に努めます。

体系図

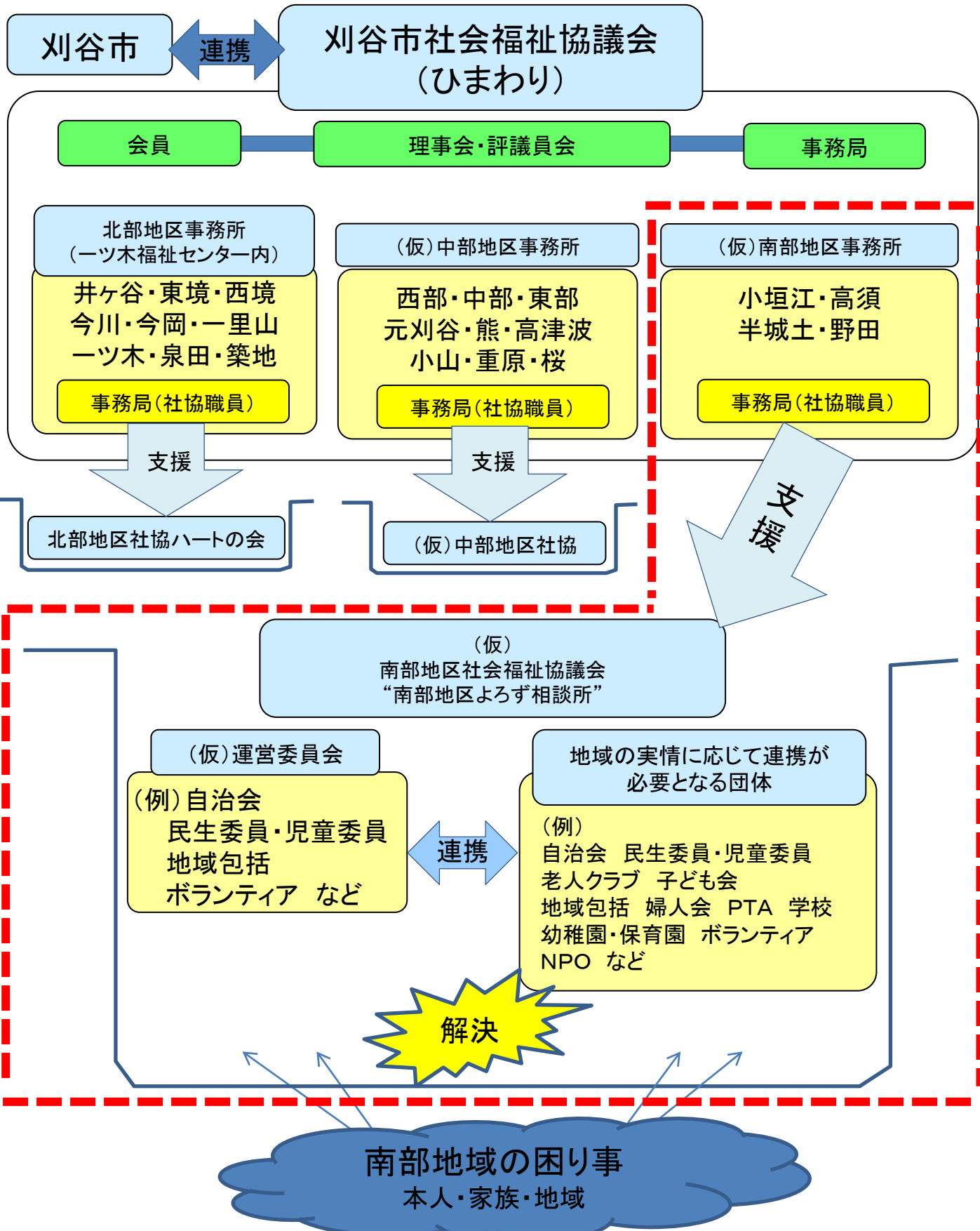


■市民意識調査 主な成果指標

(単位: %)

区分	指標項目	調査結果 15年度	調査結果 20年度	調査結果 25年度	目標値 25年度
20歳 以上	ボランティア活動への参加割合	21.0	34.8	26.4	40.0
	社会福祉協議会の認知度	14.0	13.4	12.6	18.0
	地域包括支援センターの認知度	—	7.3	9.2	12.0
	民生委員・児童委員の認知度	9.4	8.1	6.7	13.0
	自主防災組織の認知度	—	13.7	13.7	18.0
	刈谷市の福祉水準が進んでいると感じる割合	11.8	15.1	15.7	20.0
15～ 19歳	福祉を学んだことがある人の割合	73.4	70.5	72.0	80.0
	ボランティア活動への参加割合	57.6	59.0	61.0	70.0

地区社会福祉協議会イメージ図(案)



会計名		地域福祉計画策定事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	福祉総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
3	1					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	地域福祉						
		施策の内容	地域福祉推進体制の充実						
	目的	地域における福祉サービスの向上とその適切な利用の推進、社会福祉を目的とする事業の健全な発展及び地域福祉に関する活動への住民参加を促進する。			主たる内容	平成27年～31年度を計画期間とする第3次地域福祉計画と第4次地域福祉活動計画の一体的な策定を行う。			
	位置づけ	関連計画	地域福祉活動計画						
		根拠法令	社会福祉法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成25年度～平成26年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		_____		_____		・策定部会の開催 3回 ・懇話会の開催 2回 ・アンケート調査及びヒアリングの実施 ・アンケート調査報告書の作成		・策定部会の開催 5回 ・懇話会の開催 3回 ・地域住民会議の開催 3回 ・パブリックコメントの実施 ・計画書及び計画概要版の作成	
成果 (できたこと)		・多くの市民の意見を反映するため、懇話会を設置し、協議を行った。 ・地域福祉推進に関するアンケート調査及びヒアリングを実施し、計画策定の基礎資料を得ることができた。							
課題 (できなかったこと)		・アンケート調査の回収率が、総合計画のアンケート調査に比べて低かったため、今後の実施時に向けて検討が必要である。 ・地域住民会議が、南部地区のみの開催となり、中部・北部地区からの市民の意見の反映が課題となっています。							
A 実施	指標名称(単位)				実績値		目標値		
					23年度	24年度	25年度	26年度	28年度
	活動指標	第3次刈谷市地域福祉計画策定進捗率(%)			—	—	50.0	100.0	—
指標	_____								
他市との比較検証	_____								
C 事業コスト	単位：千円		23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(予算)	25年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	2,271	3,841	合計		2,271,000円
	財源	特定財源	0	0	1,136	1,920	報償費		192,000円
		一般財源	0	0	1,135	1,921	委託料		2,079,000円
	職員人件費②		0	0	7,715	8,061			
	総事業費(①+②)		0	0	9,986	11,902			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)			0	25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費			0	地域福祉計画策定事業費負担金					
27年度以降の事業費見込			0						

会計名			地域福祉計画策定事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	福祉総務課
款	項	目		担当係	総務係
3	1	1			
C H E D C K ハ 評 価	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	社会福祉法に基づき、地域福祉に関する施策を総合的・計画的に推進するために策定するものであり、市民一人ひとりが家庭や地域の中で安心した生活が送れるよう支援していく必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地域福祉活動計画と一体的な策定を行うことにより、策定にかかるコスト削減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	総合計画に掲げる、地域福祉推進体制の充実を図る一環として、地域福祉計画へも施策や方向性を位置づけていく必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	住民等による地域福祉推進のための参加や協力の上に策定されるべき計画であり、すべての地域住民がパートナーシップという共通の認識をもつことが、生活課題を抱えた人の自立生活を支える大きな力となる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も市と社協間で連携を図りながら、5年ごとの計画の改定を行っていく。					

会計名			社会福祉協議会補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	福祉総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	地域福祉							
		施策の内容	地域福祉推進体制の充実							
	目的	刈谷市社会福祉協議会が、地域福祉の担い手として活発な事業活動を行えるよう、安定した経営基盤の維持を図る。			主たる内容	社会福祉協議会の運営に伴う人件費及び各種事業に対し補助金を交付する。 主な事業として、単身老人安否確認事業、福祉教育指定校事業、児童生徒福祉実践教室事業等を行っている。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市地域福祉計画							
			根拠法令	社会福祉協議会活動費補助金交付要綱						
		対象者	刈谷市社会福祉協議会		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		人件費 13人分 事業費 13事業 ・事務事業 ・機関紙発行事業 ・ボランティアセンター活動事業 他10事業		人件費 17人分 事業費 13事業 ・事務事業 ・機関紙発行事業 ・ボランティアセンター活動事業 他10事業		人件費 17人分 事業費 13事業 ・事務事業 ・機関紙発行事業 ・ボランティアセンター活動事業 他10事業		人件費 20人分 事業費 14事業 ・事務事業 ・機関紙発行事業 ・ボランティアセンター活動事業 ・委員会活動事業 他10事業		
成果 (できたこと)		社会福祉協議会に対し、人件費及び事業費の補助による活動の支援を行い、地域福祉の向上に寄与することができた。								
課題 (できなかったこと)		地域福祉の一層の推進を図るため、各事業の目的、事業内容、効果等を精査し、事業の活性化を図るよう検討する必要がある。								
指標名称(単位)				実績値		目標値				
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		地区社会福祉協議会設置数(か所)			—	1	1	1	1	
成果指標		社会福祉協議会のボランティア登録団体数(団体)			109	129	130	125	125	
他市との比較検証		社会福祉協議会ボランティアセンター登録状況 岡崎市 91団体 安城市 192団体 高浜市 104団体 碧南市 26団体 西尾市 125団体 みよし市 74団体 豊田市 227団体 知立市 105団体								
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		66,832	86,213	89,790	97,537	合計 89,790,124 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び 交付金 89,790,124 円			
		一般財源	66,832	86,213	89,790	97,537				
	職員人件費 ②		574	743	631	73				
	総事業費(①+②)		67,406	86,956	90,421	97,610				
建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称					
	25年度迄の累積事業費		0							
	27年度以降の事業費見込		0							

会計名			社会福祉協議会補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	福祉総務課
款	項	目		担当係	総務係
3	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	地域福祉の担い手である社会福祉協議会の運営、及び活動に対する補助事業であり、地域福祉推進に資する必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	平成22年に合併し、社会福祉協議会が担ってきた在宅福祉サービスと福祉事業団が担ってきた施設福祉サービスを包括的に社会福祉協議会が運営している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	地域福祉体制の推進には社会福祉協議会が行う地域福祉活動の充実が求められるため、安定した活動実施のために市が補助を行うことは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	地区社協の展開や地域ボランティアの支援、単身老人の安否確認等の活動を通して、地域福祉推進への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
昨今の社会情勢から、地域福祉推進における社会福祉協議会の役割は今後も増大していくことが予想されるため、補助対象とする事業の内容や実施方法について、社会福祉協議会に助言・指導を行ったうえで、今後も補助事業を継続していくべきである。					

会計名			地域福祉基金運用事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	福祉総務課		
款	項	目					担当係	総務係		
3	1	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	地域福祉							
		施策の内容	地域福祉活動の推進							
	目的	地域福祉基金の運用収入を、地域福祉活動を支援するための経費の一部として活用し、地域福祉の推進を図る。			主たる内容	刈谷市社会福祉協議会が実施する各種地域福祉事業に対し、地域福祉基金の運用収入を補助金として交付する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市地域福祉計画							
		根拠法令	刈谷市地域福祉基金条例							
	対象者	刈谷市社会福祉協議会			事業期間	平成5年度 ~				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> なごやか交流会事業 21会場 参加者 310人 ねたきり老人出張理美容事業 利用 87人 221回 児童生徒ボランティア育成事業 開催 1回 参加者 19人 ボランティア講座開催事業 開催 2回 参加者 47人 		<ul style="list-style-type: none"> なごやか交流会事業 21会場 参加者 306人 ねたきり老人出張理美容事業 利用 96人 262回 児童生徒ボランティア育成事業 開催 2回 参加者 25人 ボランティア講座開催事業 開催 5回 参加者 96人 		<ul style="list-style-type: none"> なごやか交流会事業 21会場 参加者 423人 児童生徒ボランティア育成事業 開催 2回 参加者 25人 		<ul style="list-style-type: none"> なごやか交流会事業 21会場 参加者 360人 児童生徒ボランティア育成事業 開催 2回 参加者 30人 		
成果 (できたこと)		社会福祉協議会に対し、事業費の補助を行い、活動の支援を行った。1人暮らし・ねたきり老人への支援やボランティア育成の推進が図られた。								
課題 (できなかったこと)		現在の社会情勢から、低金利の状態が続いており、事業の財源としての地域福祉基金積立金利子の運用益が少ない状況にある。								
指標名称 (単位)				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
成果指標		地域の支えあいにより高齢者等が安心して暮らせると思う市民の割合 (%)			—	64.9	—	63.0	64.0	
成果指標		社会福祉協議会のボランティア登録団体数 (団体)			109	129	130	125	125	
他市との比較検証		岡崎市、碧南市、安城市、みよし市・・・運用益は基金へ編入 豊田市、西尾市、高浜市・・・運用益は福祉関連の事業や、社協への補助金として充当 知立市・・・基金なし								
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		1,589	1,810	1,050	1,233	合計 1,050,139 円			
	財源	特定財源	470	285	947	1	負担金、補助及び交付金 1,050,139 円			
		一般財源	1,119	1,525	103	1,232				
	職員人件費 ②		179	177	70	147				
	総事業費 (①+②)		1,768	1,987	1,120	1,380				
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		25年度特定財源名称				
25年度迄の累積事業費		0		地域福祉基金積立金利子						
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			地域福祉基金運用事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	福祉総務課
款	項	目		担当係	総務係
3	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	地域福祉の担い手である社会福祉協議会の活動に対する補助事業であり、地域福祉推進に資する必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	1人暮らし・寝たきり老人への支援やボランティア育成など事業の実施には効率的な運用を図っているが、需要の掘り起こしなど、実施方法の検討は必要である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	地域福祉基金は、その運用益を地域福祉活動を支援するための経費に充てるとあり、社会福祉協議会の行う地域福祉活動事業への市の関与は妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	地域ボランティアの活動や立ち上げの支援、ボランティアに携わる人材の育成を通して、地域福祉活動の推進に寄与している
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
運用益の減少に伴い、補助対象としていた4事業のうち、2事業については今年度から補助廃止し運用の効率化を図った。今後も効率的な事業の開催方法などについて社会福祉協議会に助言・指導を行ったうえで、補助事業を継続していくべきである。					

会計名		市民ボランティア活動支援事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	市民協働課		
款	項					目	担当係	協働推進係	
2	1					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	参加・協働						
		施策の内容	市民活動の推進						
	目的	地域づくりの担い手として、市民が主体となった市民ボランティア活動が発展していく環境づくりを目指す。 市民ボランティア活動情報の受発信と活動支援の場を提供することにより、市民ボランティア活動の活性化を図る。		主たる内容	○ボランティアが交流できる市民ボランティア活動センターの管理運営を行う。 ○3市1町によるボランティア活動情報サイト「かりや衣浦つながるねット」を活用し、市民ボランティア活動に関する各種情報を提供する。 ○市民活動総合補償制度の運用				
	位置づけ	関連計画	刈谷市共存・協働のまちづくり推進基本方針						
		根拠法令	刈谷市民ボランティア活動センター条例						
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・相談件数 900件 ・マッチング件数 94件 ・団体登録数 355団体 ・個人登録数 150人 ・保険適用件数 12件		・相談件数 959件 ・マッチング件数 100件 ・団体登録数 397団体 ・個人登録数 165人 ・保険適用数 14件		・相談件数 1,015件 ・マッチング件数 105件 ・団体登録数 417団体 ・個人登録数 182人 ・保険適用数 13件		・センターの継続支援 ・情報サイト活用と定住自立圏内の連携の促進 ・市民活動総合補償制度の運用	
成果 (できたこと)		センター利用者、登録者数（サイト登録者）とともに年々増加。当センターを中心に人材育成、コーディネート機能がさらに充実してきた。また、市民活動団体や企業等と協働で、まちづくり交流会「わがまちのつむぎ場5」を企画・開催した。 衣浦定住自立圏3市1町による市民活動情報サイト「かりや衣浦つながるねット」を運用した。							
課題 (できなかったこと)		市民活動総合補償制度の周知・啓発を促し、市民が安心して活動できる環境を整える。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		NPO法人数（団体）		25	27	27	24	26	
成果指標		市民ボランティア活動センター登録数（団体）		355	397	417	344	360	
他市との比較検証		西三河地域NPO法人認証数（H26.5.2現在） 270団体 岡崎市73 碧南市7 豊田市60 安城市36 西尾市32 知立市10 高浜市10 みよし市12 幸田町3							
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		24,911	35,164	35,215	37,079	合計	35,214,773 円	
	財源	特定財源	1,293	757	1,077	1,057	旅費	47,720 円	
		一般財源	23,618	34,407	34,138	36,022	需用費	3,224,822 円	
	職員人件費 ②		6,102	5,305	4,559	6,595	役務費	590,784 円	
	総事業費 (①+②)		31,013	40,469	39,774	43,674	委託料	28,799,169 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		行政財産目的外使用料、市町村振興事業費補助金（県）、衣浦定住自立圏構成市町負担金					
27年度以降の事業費見込		0							
						使用料及び賃借料	2,521,828 円		
						負担金、補助及び交付金	30,450 円		

会計名			市民ボランティア活動支援事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	市民協働課
款	項	目		担当係	協働推進係
2	1	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	刈谷市民ボランティア活動センターは、市民活動・地域活動の活性化に伴い、活動の拠点施設として、今後ますます重要となる。また、定住自立圏域内での活発な情報発信が期待される。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	施設利用者数や登録団体数、NPO法人数も増加している中で、費用面では、前年度と同規模の予算で事業を執行できており、効率性は維持できている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	施設運営は専門性を持ったNPOが担うことで、地域におけるボランティア活動支援の中核的な施設として、行政機関と市民活動団体の橋渡しの役割を担っている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市共存・協働のまちづくり推進基本方針に基づき、地域の課題に自発的に取り組む市民の支援に大きく貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷市共存・協働のまちづくり推進基本方針に基づき、市民活動者の活動場所および情報発信の場を提供するために、施策の実施に努める。					

